

鉄道ピクトリアル

2018年6月号 Vol.68 No.6 通巻No.946

〈特集〉小田急電鉄複々線化完成

■表紙 複々線を走行するニューフェイスGSE ……編集部

祖師ヶ谷大蔵一成城学園前 2018-3-28

EOS-1D X EF100-400mm F4-5.6L IS II 絞り f4 タイム1/400 ISO200

■グラフ

2018春 NEW 小田急始動! (1~8ページ)

飯塚卓治・進藤 匡・浜村正弘・石田敦己・長内 宏
太田正行・関 周一・石原裕紀・編集部ほか

あの日、あの時、代々木上原―東北沢で見た光景 (92~93ページ)

写真と文: 坂戸直和

小田急電鉄 2018.3.17改正 新ダイヤスタート (94~95ページ)

写真: 西村大蔵・長内 宏・石田敦己ほか

*

小田急線懐かしの風景 昭和の時代のサバー区間

写真: 川島常雄・菊地康友ほか… 28

小田急の複々線化区間 工事前後を見る ……構成: 編集部… 34

小田急複々線区間各駅停車 ……写真: 進藤 匡ほか… 44

小田急電鉄2018.3.17改正 新ダイヤスタート …… 50

10両化当時の小田急新宿駅 ……千田 正哉… 52

豪徳寺の桜 ……長内 宏… 55

*

Pictorial Color Gallery 美しきイタリアンカラー ……加藤 和毅… 89

JR東海N700S(確認試験車)/JR東日本日光線観光電車
205系「いろは」/JR北海道H100形/JR北海道マヤ35形/
2018年3月17日JRグループダイヤ改正/JR西日本三江
線2018年4月1日廃止ほか 96~99

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) ……100

各地の話題から ……白川 淳…108

相模鉄道 2018年春の話題 ……大里 信之…110

「京急120年の歩み号」について ……京急同趣会…111

連載・昭和の鉄景(第18回) ……椎橋 俊之…112

■本文

今月の話題: 小田急複々線化完成 ……編集部… 9

小田急線 複々線完成による新ダイヤ ……屋 昌宏… 10

小田急電鉄70000形 ……伊藤 正博… 20

生方良雄さんに聞く小田急複々線事業の前夜

構成: 今津直久… 56

小田急電鉄 連続立体化・複々線化事業を振り返る ……佐藤 信之… 64

昭和30年代前半の小田急線回顧 ……高須 清… 72

1977年発 21世紀行き小田急列車 ……梅沢 賢治… 78

*

鉄道の話 ……編集部… 88

書評(639)『撫順電鉄(撫順破業集団運輸部)―満鉄ジテとその一族』

三木 理史…113

絵葉書のなかの国鉄ローカル線(40) 肥薩線 ……白土 貞夫…114

JR東日本キヤ195系(量産先行車) ……天沼 秀章…116

JR東日本2018年3月17日ダイヤ改正に伴う直流形電車の動向(1)

日向 旭…123

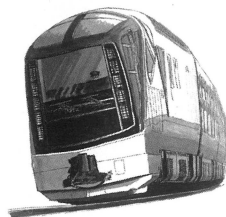
3月のメモ帳 ……127

読者短信・情報ファイル ……128

後部車から ……132

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット: 山本茂樹

今月の話題

小田急電鉄複々線化完成

2018(平成30)年3月、小田急電鉄代々木上原―登戸間11.7kmの複々線化が完成した。東京圏を網羅する鉄道地図に新路線が加わるといった変化はないものの、今回の複々線は新線完成、新たなネットワーク構築に匹敵する意味のあるプロジェクトの完成であると言えよう。小田急電鉄は華々しい特急ロマンスカーによる箱根への観光輸送が話題となる一方、小田急の戦後は、沿線人口の急激な増加を背景とした都心側を中心とした通勤輸送の混雑緩和に向けた輸送力増強との戦いの歴史があった。1960年代後半から70年代前半にかけては朝ラッシュ時の混雑率は230%前後で推移しており、新宿駅をはじめ沿線各所で設備改良が進められ、輸送力を限度いっぱいまで高めて輸送が維持されてきたが、抜本的な解決策は複々線化であると見られていた。

こうした事情を背景に、都市交通審議会答申に基づき、さまざまな協議を経て、地下鉄千代田線直通、都心側の複々線化が決定し、小田急の悲願として整備事業が進められてきたわけであり、完成に際して関係者の喜びは大きいものがある。会社のPR展開もかつてないほど力が入っている。複々線化とともに大規模な白紙ダイヤ改正が実施され、千代田線との相互直通、通勤通学をはじめとした輸送快適性向上をめざした列車大增発が実現し、今日までのところ、ダイヤは順調に稼働し、混雑率も大幅に改善しているようである。新形特急車GSEのデビューも注目される。大手民鉄各社は近年沿線価値の向上をキーワードの一つとして多彩な事業戦略を展開しており、安心・安全で快適な輸送の確保はその大きな要素となっている。今回の複々線化が、小田急にとって新たな沿線価値創造の時代を築く基点としてさらなる躍進を期待したい。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan